

都城島津伝承館審議会（令和8年2月17日開催）活動報告

議事1：令和7年度事業と経過報告

■展覧会事業

令和7年度は4つの展覧会を開催し、合計11,192人の来館者を迎えました。

収蔵史料展「都城と都城島津家」（春季 / 冬季）

会期：2月22日～6月22日、12月6日～3月15日 来場者数：3,911人

都城島津家及び都城の歴史を古代から近代まで通史的に紹介しました。

企画展「都城地域の戦争と平和」

会期：7月5日～9月28日 来場者数：2,518人

戦後80年を記念した5館合同連携イベントとして開催。戦国時代から江戸時代の「天下泰平」、そして近現代の戦争体験を通じて平和の大切さを考える機会を提供しました。関連講演会では熊本大学の稲葉継陽氏が「天下泰平を支えた先人たち」について講演されました。

特別展「怪異の受容と南九州」

会期：10月11日～11月24日 来場者数：4,763人

国宝島津家文書「倭文麻環」「玉藻前」をはじめ、都城を含む島津領に残る怪異に関する史料を通じて、当時の人々の思想信仰を紹介しました。関連講演会では兵庫県立歴史博物館の香川雅信氏が「怪異と妖怪」について講演されました。

■教育普及事業

歴史講座

「都城島津家の歴史が紐解く都城地域」をテーマに5回開催（参加者17名）。戦争と平和、戦国時代、怪異、幕末・明治維新期の都城について学習し、最終回では市内史跡見学を実施しました。

御入部記念ウォーク

都城島津家初代資忠の入部を記念し、姫城町の史跡を徒歩で見学しました（参加者17名）。

ガイド養成講座

都城歴史観光ガイドの育成を目的として10回開催（参加者6名）。継続的なガイド育成のため、令和5年度から毎年開催しています。

古文書講座

「本田文書」を教材とした5回講座（参加者17名）。鎌倉時代から江戸時代の貴重な史料群を通じて古文書解読技術を習得しました。

博物館実習・職場体験

大学生4名の博物館実習、高校生・中学生の職場体験を受け入れ、次世代の文化財保護意識の醸成に努めました。

■史料収集・保存

新規寄贈

高木家史料 1 点、後藤家史料 8,228 点を受贈。後藤家史料は鹿児島藩東部における商品流通や町場の動向を探る貴重な史料群です。

■デジタル化事業

令和 6・7 年度の 2 ヶ年事業として、「みやこのじょうデジタルアーカイブ」を構築。約 2 万点の史料目録をデータベース化し、代表的な史料 71 件をデジタル撮影して公開しました。国際規格 IIIF に対応したビューアでの公開や、親しみやすいコンテンツ「都城を知る・学ぶ」「こどものページ」なども作成し、令和 8 年 3 月 24 日から本公開を開始します。

■施設運営

公開承認施設更新

文化庁から展示環境の改善指導を受け、温湿度管理システムの改善、ガス濃度低減対策を実施。令和 7 年 8 月 25 日付けで 5 年間の継続承認を受けました。

博物館登録申請

改正博物館法に基づく登録申請を宮崎県に提出し、令和 8 年 1 月 16 日付けで登録されました。

石蔵カフェ

プロポーザル方式により新事業者を選定し、日本茶専門店「shop&café 日向時間」が令和 7 年 8 月に開店しました。

議事 2：令和 8 年度事業計画（案）

■展示事業

収蔵史料展「都城と都城島津家」 会期：3 月～6 月

都城島津家及び都城の歴史を古代から近代まで通史的に紹介します。

企画展「イロイロ—色彩に見る都城の歴史—（仮称）」 会期：7 月 11 日～9 月 27 日

都城島津家伝来の美術工芸品や武具類に用いられた色彩をテーマに、制作当時の社会情勢や文化的背景を探ります。

特別展「都城島津氏の歩みと新『都城市』（仮称）」 会期：10 月 10 日～11 月 23 日

新市誕生 20 周年・島津荘誕生 1000 周年を記念し、平安時代末期から江戸時代初期の都城島津家の歴史を、現在の市域成立に影響を与えた出来事に焦点を当てて紹介します。東京大学

史料編纂所の本郷恵子教授による記念講演会や「よみ語り」公演会も開催予定です。

京都国立博物館連携展

令和9年秋開催予定の「島津家の名宝展（仮称）」に向けて準備を進めています。島津家初代・島津忠久の800年忌を機とし、都城島津邸からも多数の史料を貸出予定です。

■教育普及事業

歴史講座、ガイド養成講座、古文書講座を継続開催し、市民の歴史学習と文化財保護意識の向上を図ります。

議事3：史料修復について

都城島津家史料の永続的な保存・公開を目的として、専門的な修復事業を継続実施しています。

基本方針

九州国立博物館を拠点とする専門職人による適切な修復を実施し、史料の状態記録、緊急度・修復度の決定、展示頻度を考慮した優先順位付けに基づく長期計画を策定しています。

令和8年度修復予定

「島津久統像」「島津久道像」の修理を実施予定。両史料とも経年による汚れ、カビ、シミ、虫損による損傷が著しく、表装解体による肌裏紙取替、絵具層の剥落止め、補絹、新調表装による掛軸装仕立てを行います。

議事4：建造物調査事業について

事業概要

都城島津家住宅群（8件）の文化財的価値を明確にするため、令和7～8年度の2ヶ年で総合的な建造物調査を実施しています。文化庁補助事業（近代和風建築等総合調査）として、鹿児島大学工学部の木方十根教授の指導のもと進めています。

調査内容

都城島津邸所蔵の建築図面・関連史料の分析、現況測量、写真撮影による詳細記録を実施。昭和10年建築時、昭和28年増築時、昭和48年改築時の図面を収集し、設計・施工を担当した大林組からも設計図面を入手しました。

■議事5：庭園整備について

整備の背景

樹木の巨木化・高木化により借景が失われ、遮光による低木枯れや芝の喪失、建造物への影響、安全上の問題が生じています。

整備状況

平成 30 年度策定の庭園整備計画に基づき、令和元年度から順次実施。令和 7 年度までに危険支障木・景観支障木の剪定・伐採をほぼ完了し、池の汚泥除去も実施しました。令和 7 年度は故障している井戸の給水ポンプ取替を実施しました。

■議事 6：刊行物について

継続刊行物

図録：企画展・特別展の展示図録を各 500 部作成・販売。

史料集：都城島津家史料集第 15 集を刊行。令和 8 年度は第 16 集「改撰方御用御対日記」を刊行予定。

デジタル公開

令和 5 年度以降、史料集をデジタル化してホームページで無料公開し、より広い活用を促進しています。

■議事 7：史料の外部貸出状況および撮影許可申請等の状況

今年度の史料外部貸出実績はありませんでした。

史料の画像利用については、教育・学術・文化事業目的が 21 件、商用目的が 4 件ありました。